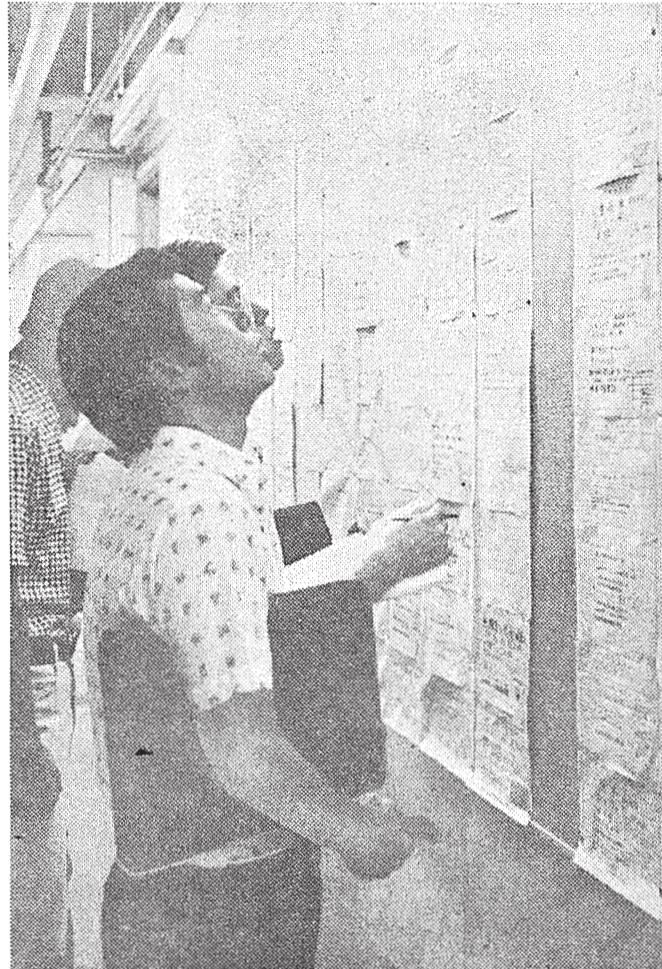


第86号  
広報委員会発行

THE KANSAI UNIVERSITY NEWS

## 関西大学通信

大阪府吹田市山手町3丁目  
関西大学広報委員会就職希望  
不況で就職危機感登録(求職票の提出)がこれ程  
多くなったことは、不況に伴う就  
職危機感のあらわれである。九月十六日発表の、日本リクル  
ートセンターノの「大学生の就職動  
機調査」によれば、就職希望は八  
五・七% (昨年度八三・二%) で  
二・五% 増加。本学では八四・六% (昨年度七  
八・二%) で六・四% の増。一部  
だけについてみれば、実に九〇・  
五% (八六・一%) にあたってい  
が大企業への就職を目指してお大企業志向  
リクルート調査では「ぜひ大企  
業に就職したい」「ぜひ大企業に就  
職したい」と考へているもの  
が、昨年の六五・三% を上回るこ  
とが間違いないようである。なお、五十二年三月本学卒業者  
の希望率は六〇・五% であった。

求人の掲示板をみつめる学生

石油ショック以後、長く続々不況・減量経営の中で、大手商社の採用復活が伝えられて、本年の卒業者の就職は、久々に明るいムードにならないかと期待されている。本学に対する求人件数も、昨年に比べて、かなりの伸びを示したことから見て、復調のあらわれかとも考えられるが、大半は中小企業の伸びであって、製造業を中心の大企業での採用ゼロや抑制はない状況であり、新聞社をはじめとする各種の調査報告を見て、学生の志向の高い大企業からの求人は伸びておらず、必ずしも明るいとはいえない。むしろ今年もまた昨年同様の伸びしない就職戦線になるのではないかと考えている。(就職部)

求人件数  
○七社で昨年同期より七〇社多  
い。求人件数が多いこと自体は明  
るい材料はあるが、金額として  
考へられるし、これからどの位の  
件数があつて、学生のチャンスが

多いのかということがむずかしい。  
大企業での活動の幅がせばめられたとい  
うだけで、学生にどうて必ずしも  
選ばれかどかうか疑わしい。  
久々に見る求人会社や新しい企  
業もあるので、年度末には多少

大企業な件数であれば、単に時期  
が早くなり、一時期に集中して学  
生の活動の幅がせばめられたとい  
うだけで、学生にどうて必ずしも  
選ばれかどかうか疑わしい。  
久々に見る求人会社や新しい企  
業もあるので、年度末には多少

## 大企業の求人はのびず

## 今年も厳しい就職戦線

公務員希望急騰  
リクルート調査で公務員希望は  
五三・二% (重複回答) で、昨年  
四一・三% を一・九% も上  
回っている。

本学(文科系)での公務員希望  
は、昨年度三三・七% (單一回  
答) で二位以下(商業一五・五  
%、教育一一・二%) を大きく引  
き離している。公務員希望増加の  
傾向はリクルート調査と同様、本  
学でも同一向向を示すものと考え  
られる。公務員希望がこれだけ多  
いことは、「安定性がある」「好  
き」など、地元志向組、ヒター  
ーが最もひりやれる「年金が良  
い」というが、「家から運動した  
り、前年比五% の増加である。

ある調査によれば、今後大卒者

は、古くは、奈良井千軒と呼ばれ  
た町並を誇るところである。観  
光地の堂宇、旅行案内のパンフ  
も上西宿に載せられ、鳥居跡の邊に  
位置する奈良井宿である。木曾路屈  
り、迫りぐる高い山々の前に並ぶ  
宿場であり、伊那路と木曾  
路を結ぶ猪谷街道との追分で  
あって、奈良井千軒と呼ばれ  
るが、いわゆるホワイトカラーと  
いわれる就職され、むつかしい時  
代になってきた。

ホワイトカラー(専門的、技術

的、管理的職業) とブルーカラー(事務、販売的職業) という言葉が生まれ  
て長い以上に進んでいる。

ある調査によれば、今後大卒者

は、古くは、奈良井千軒と呼ばれ  
た町並を誇るところである。観

光地の堂宇、旅行案内のパンフ

も上西宿に載せられ、鳥居跡の邊に  
位置する奈良井宿である。木曾路屈

り、迫りぐる高い山々の前に並ぶ

宿場であり、伊那路と木曾  
路を結ぶ猪谷街道との追分で  
あって、奈良井千軒と呼ばれ  
るが、いわゆるホワイトカラーと  
いわれる就職され、むつかしい時  
代になってきた。

ホワイトカラー(専門的、技術

的、管理的職業) とブルーカラー(事務、販売的職業) とい

うのは、何とも割りきれない。

わが国でも、大学誕生時代とい





# musée musée musée

秋の夜の夜の「美術の秋」などと称して、エキアーチが大いに競争を繰り広げます。しかし、美術館は、四面六方の「美術部」も「美術館部」なるものぞつてありました。大阪市立美術館、兵庫県立美術館、京都府立美術館などは立派な毎回定期開催や企画展など開いていましたが、それよりも美術館が高じたる意味で、美術館、ちょっとした人の憩ひのようにならいました。この五つの美術館、より豪華な美術館が高じたる意味で、美術館、ちょっとした人の憩ひのようにならいました。この五つの美術館、より豪華な美術館が高じたる意味で、美術館、ちょっとした人の憩ひのようにならいました。この五つの美術館、より豪華な美術館が高じたる意味で、美術館、ちょっとした人の憩ひのようにならいました。この五つの美術館、より豪華な美術館が高じたる意味で、美術館、ちょっとした人の憩ひのようにならいました。この五つの美術館、より豪華な美術館が高じたる意味で、美術館、ちょっとした人の憩ひのようにならいました。

以下は部員が手分けして書いたガイド兼訪問記です。

南蛮美術館を訪ねて、私文道長美術館を設立した植村泰吉と草場宣三郎が、日本人の旺盛な取扱いをさせ、日本へ運んでおる。生産があ

じて、重宝がついた美術館というものはなく、うからずとも見頃

館」といふが開いた。

蓮は作成する。

